

「第14回国際熱傷学会日本支部会学術賞」を受賞



病院
秋田 定伯 助教



病院形成外科の秋田定伯助教は、「Fibroblast Growth Factor-2 Improves Scar Quality as well as Accelerates Wound Healing in Burns」（熱傷創において線維芽細胞増殖因子-2 は創傷治癒促進すると共に瘢痕の質を改善する）の研究発表により、6月3日、第14回国際熱傷学会日本支部会学術賞を受賞しました。

この賞は、平成20年9月7日～11日、カナダ モントリオールにて開催された第14回国際熱傷学会（International Society for Burn Injuries, ISBI）における研究発表のうち、①企画性、②新規性、③採択雑誌予想、④プレゼンテーションの4項目の総合評価のもと、日本熱傷学会理事会で承認を得たものに対して授与されるものです。

なお授賞式は、同日、第35回日本熱傷学会（ホテルメトロポリタン・東京都豊島区）において行われました。

（平成21年6月・病院総務課）